



(特非) OHKUVU

# 放置竹林 ブランディングプロジェクト

入門助成  
1年目  
実践

4~6種類の竹に  
ちなんだ生産物を  
収穫する **10種類以上**

品評会、試食会の  
開催

**10回**

活動の全体目標に  
対する達成度 **100%**

## 課題

荒れ放題になっている竹林を間伐整備し、間伐材を二次利用する目的として農業用資材、食材としての付加価値を高め、竹林の活用の仕方を地域全体で理解する。

## 目標

荒れ放題になってしまっている竹林の整備、景観を良くし地域住民が安心して生活できるようにする。間伐した竹林は放置せず、資源として活用し、竹の利用価値を認識し定期的な間伐が自主的に行われる仕組みを作る。

## 活動内容

竹林を間伐整備し、間伐材をチップ化、粉末化した。間伐には地元の高齢者が大きく関わり、子ども達に指導するなどの交流が生まれた。チップ化した竹は土壌改良材として地元の農家に提供し、その資材を使って収穫された野菜を「大久保野菜」というブランディングで地元のレストランのメイン商品としてサラダバーで提供されている。粉末の竹も同じくレストランでピザの生地、パスタの生地、ヨーグルト乳酸菌の代用として使われている。



竹の粉末が練りこまれたピザ

## 達成できなかったこと

計画以上の成果が生まれた。今後の継続をより活性化して進めていく。

## 今後の展望

地元にはまだまだ竹により荒れ放題になっている山が多くある。危険も多く、そこを開拓していくこと。

## 成果と工夫したポイント



### 成果

竹チップを農業用資材として地元の農家に広く活用していただけたことにより、「竹」にちなんだ収穫物は計10種類以上の野菜が収穫でき、それぞれの特性も検証することができた。また、商品としても開発に繋がった。

### 工夫

竹のチップ作業に人手が集まらなかったが、チップ化した竹は自由に持っていてもいいとした。